

会 議 録

1 会議名

平成28年度第10回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

(1) 平成28年度地域協議会の活動実績について

・活動の振り返り

(2) 平成29年度地域協議会の活動について

・年間スケジュール（案）の説明

・地区懇談会の見直しについての報告

・活動スケジュールについての協議

○報告事項

(1) 平成28年度『灯の回廊』開催結果について

(2) 牧区総合事務所4月1日付け人事異動について

(3) その他連絡事項

3 開催日時

平成29年3月28日（火）午後6時から午後7時10分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名（敬称略）

・委員：飯田秀治、折笠弘志、佐藤祐子、清水薫、難波一仁、前山美智弘、丸山 進、
渡辺喜一

・事務局：牧区総合事務所高橋所長、橋詰次長、金井グループ長、山田班長、綿貫班長

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山 進会長】

あいさつ

【高橋所長】

あいさつ

【丸山 進会長】

会議録の確認：前山美智弘委員に依頼

【丸山 進会長】

これより会議を始める。3番の協議事項1番目「平成28年度地域協議会の活動実績について」事務局から説明を願う。

【事務局】

資料1-1は平成28年度の活動実績の一覧となっている。今年度は地域協議会委員の改選の年であり、第4期の委員として1年間活動いただいた。10回の地域協議会の開催と、3回の地域協議会だよりを発行した。また、初めての試みとして、10月に清里区地域協議会委員との合同研修会を行った。

【丸山 進会長】

資料1-2をご覧ください。この資料は自治・地域振興課から全市28区の地域協議会の活動実績をまとめたものとして入手したものである。2番出席率を見ていただきたい。私も常日頃から気になっていたことだが、当区の出席率が低い。表中19番目が牧区になっており、平成16年度からの経緯を示しており、平成28年度第9回までの出席率は74.1%となっている。他区と比較すると、かなり出席率が低い。今年ばかりではなく、平成27年度もそれほど高くはなかったが、他の区と肩を並べる実績だった。28年度は極端に低くなっている。皆さんもいろいろな都合があり欠席されるわけだが、地域の代表ということを自覚していただきながら、できるだけ協議会の会議を優先的に出席いただくように、特段のご配慮をいただきたいと思っている。

次に傍聴席、傍聴者の数等々も当牧区の場合は低い。それはまだ、地域の皆さんが関心を持つような議題がなかったためではないかと思う。この資料を見ていただくと、他区との比較が一目瞭然にわかる。このデータを云々いうつもりは決してないが、やはり私達は地域から選ばれた者として、できる限り都合をつけて出席をお願いしたい。

【清水委員】

28年度の10月に清里区との合同研修会があったが、29年度は同じ会を今度は牧地区で開催するととらえてよいか。

【丸山 進会長】

まだ皆さんには諮っていないかったが、一応、決定はしていないが清里区とは内々で、次回は牧区を会場として開催するとの話はしている。特段の問題がなければ、今後も双方の持ち回りで続けていきたい、そこでいろいろな問題が出れば協議し合えばいい、と話した。後程その説明もあると思うが、一応今回牧区で開催したいと考えている。

【丸山 進会長】

次に2番「平成29年度地域協議会の活動」年間スケジュール（案）について事務局から説明を願う。

【事務局】

事務局サイドで、大まかなスケジュール案を作成させていただいた。4月については主に地域活動支援事業に関して、3日間の日程が決まっている。5月以降は定例の地域協議会の他に、6月に初の試みとして、地区懇談会への同行を案として入れさせていただいた。また後ほど、所長から地区懇談会の今後の在り方の説明があるが、以前、地域協議会も地域に積極的に入ることが必要ではないか、とのご意見があったことからである。このことについては、改めてご意見などお伺いしたいと思う。次に7月下旬に視察研修、11月に第2回清里区地域協議会との合同研修会を予定している。清里区とのすり合わせも必要となるが、29年度においては、牧区での開催となる予定である。11月には第2回地区懇談会へ同行とあるが、これについても様子を見ながら決定いただくことでよいと思う。あとは例年のおり12月地域活動フォーラムへの参加、3月の地域活動支援事業事前説明会の開催予定となっている。

【丸山 進会長】

引き続き「地区懇談会の見直しについての報告」について事務局から説明を願う。

【高橋所長】

資料3「地区懇談会について」をご覧いただきたい。委員の皆さんには、清里区との合同研修会の前に少しお話したことがあったと思う。平成28年度の地区懇談会は6月22日から28日、5地区にかけて行われた。その1回目の様子から、複数の町内会長からもいろいろなご意見をいただき、見直しが必要ではないかと判断した。総合事務所の中で検討を重ねてきたところであり、2番に3つの課題をあげさせていただいた。

1つは参加者が固定化されてしまっているということと、それから産業建設関係の要望や意見が約9割を占めているということ。例えば福祉や教育など幅広い意見が出ていないということも課題とし検討を重ねてきた部分である。3月までに事務所内で5回にわたって地区懇談会の在り方、会議を開催して検討してきたものである。裏面は見直し等に寄せられた主な意見ということで、3つの区分別に意見をいただいたもの。もう少し細かいエリアで回ってほしいという意見や、現状でいいのではないかと意見もあり、いろいろな意見をお寄せいただいた。それらを参考にし、5回の検討会議で出された意見を集約結果としてまとめさせていただいた。

参加対象者については牧区民全体を対象にする。今までも呼びかけてもらっていたと思うが、結果的に地区の役員の方々が主になっていたという実状もあり、広くお声がけをさせていただき開催したいという考え。開催内容については、これまでは行政の報告と連絡を行った後にご意見を伺ってきたが、当面その手法で行っていきたいと思う。よって産業建設関係だけではなく、もっと幅広いご意見をいただけるような会にしていきたいため、将来的にはこちらからテーマを決めて、開催することも検討していくということ。

開催会場については、これまでは5会場で行ってきたが、少し細かいエリアで開催し、いろいろな意見をいただく意味でも、現状5地区の倍の10以上の地区を設定して、地域に入っていきたいと考えている。

開催の日時も平日の午後7時以降とし、女性の方々も出やすいような時間帯を設定しながら開催していきたいと考えている。

それから、先ほどからもお話ししている産業建設関係の要望等については、町内会長に別途文書で送付することにして集中的に要望をお聞きする。これについてはご意見をいただいてそれで終わりではなく、年間を通して受け付けるような姿勢でいきたいと考

えている。なお、開催する会場でアンケート等をとらせていただき、今後の見直しについて参考にしていきたいと考えている。平成29年度は例年どおり6月中下旬に1回目を実施したいと考えており、できれば地域協議会委員の皆様方と合同で現場に入り、直接市民の意見を聞くことについてご協力いただければと思っている。

また、行政は行政、地域協議会は地域協議会ということで開催する手法もあると思うが、地域にとってはそれもまた負担になると思うので、同じ目的で開催すれば課題・問題など一緒に把握できるのではないかと考えている。会場でのアンケート等で寄せられた意見を参考にし、11月中下旬に2回目を開催していきたいと考えている。また、産業建設関係の要望等については、4月の町内会長連絡会議で文書で照会させていただき、関係機関との協議後に町内会長にお返ししていきたいと思う。これは先ほどもお話ししたとおり、年間を通して要望等を受け付けるという姿勢で臨みたいと考えている。

29年度はこのような形でやらせていただきたいと思うが、それに対してのご意見等、地域協議会でも一緒に出席し開催していくことのご協議をお願いできればと考えている。

【丸山 進会長】

資料2で、4月の日程はもう大体決まっております、今までより少し皆さんの手を煩わせる部分も多くなっているが、それも皆さんのご意見に添った部分である。牧区独自の研修会も必要ではないかとの意見があり、7月に視察研修を行う予定としたが、目的がなければ時間とお金を費やすばかりと私は思っている。そのような中で高橋所長の方から、地区懇談会に出向き意見交換という話が出された。私は是非それに便乗させていただきながら、地域の問題点課題等をそこで吸い上げ、我々がここで検討しなくてはならない、また、問題があった場合はここで検討して、自主的審議事項として持った方がよいと考えているが、忌憚のないご意見を皆さんからお聴きしたい。

皆さんも新聞等を読んでお分かりだと思うが、議会等でも地域協議会との意見交換会があった。また議会の中での地域協議会の在り方等々、検討されているようである。あるいは、市長からは地域協議会のこれからの内容を諮問事項だけでなく、自主的審議事項にも重きを置いて企画して欲しいという意向もあると新聞に載っていた。私もできるだけ牧区としての問題点等々をここで検討していくのが本来の姿ではないかと思う。

議員とは全く違う観点だが、いろいろな問題がある今、市の方へ問題提起していく必要があるが、それが言葉になって出てこない部分があるのではないかと考えている。

【渡辺委員】

先ほど所長から地区懇談会の会場を増やすとあったが、各地区2か所くらいずつであれば10会場になるのか。

【所長】

地区割りについては職員から、どのように増やしていけば一番地域の皆さんが集まりやすいか考えてもらっているところである。例えば民生委員さんを選出するパターンなど、いくつかパターンがあると思うし、その地域に入ればこの町内とこの町内と一緒にやってもらった方がいいというご意見もあると思うので、町内会長にご相談をさせてもらいながら、10ないし、それよりもう少しというようなくらいの地区、エリアを設け、細かくして人ができるだけ集まりやすいような体制を作っていきたいと考えている。

【渡辺委員】

地域協議会の委員も割り振りし同行するのか。

【丸山 進会長】

それについてもご意見をいただきたい。自分の出身地区だけでいいのか、その他の意見も聴くために区割りをしない方がよいという意見もあると思う。忌憚のない意見を出してほしい。

【所長】

これまでは1か所当たり、6人から7人の職員が伺っていたが、会場が増える分、人数を絞っていききたいと考えている。

【渡辺委員】

地域の方の集め方はテーマ設定もあると思うが、高齢者しかいないような地区も多いので、設定を考えていく必要があると思う。

【飯田委員】

行政が各町内に出ることは大変良いことだと思う。従来、管理職が地区ごとに出席するというパターンだったと思うが、出向いてもらうと同時に、渡辺委員が言うとおりに、やはり高齢化率が非常に高い集落もあり、19時や19時半の会合となれば時間を聞いただけで億劫になって出てこないのではないか。では昼間やるのかというと、職員の皆さんは昼間も仕事があり、協議会委員も出席するとなれば、時間的なことも検討しなくてはならないが、私は地区に出向くという姿勢、今までの5会場からもう少し増やして回

るということは非常に良いと思うし賛成である

【佐藤委員】

去年度は出身地区だけ出席させていただいたが、例えば全部の区を回らないまでも、会長が言われたように振り分けて、1か所～2か所は他の地区へ行くことで、他ではどんなふうを考えているのか、どんな意見が多いのかというのを肌で感じてくることも大事だと思うので、1人3か所くらいずつ行けるような感じで割り振ってはどうか。

【前山委員】

よくわからないが、基本的に誰がどうこうではなく、要望が9割で、それを大抵は町内会長が発表している、これが住民対象の懇談会になっていないという最大の問題だと思う。やはり福祉や教育という本来、住民が受けなくてはいけないサービスをどうして充実したものにしていくかというようなことでなければ、そろそろ顔を揃えて行ったところでなかなか良いもの生まれにくい。内容を精査するというか、やり方を変えて臨まない限り、顔ぶれを新しくしたところで何も変わらないと思う。

【丸山 進会長】

清里区との合同研修の時も同じ話があり、それほど価値のある懇談会ではなかったとの委員の意見が出たことは事実。

【清水委員】

全く違う意見だが、自主的活動の中で若い人の意見を聞きたいという話があった。そうすると、地区を小分けにするのではなく、例えば中山間地で一番困っているのは農業であり、法人を作ったりしているが、将来行き詰る恐れがある。個人の集まりの中で意見を聞いたり、若い人たちを対象にしたり、地区は5地区で、増やすのは地区割りを細かく割るのではなく、何かそういう視点を考えた取り組みをした方が、共通の意見が出やすいのではないか。

【折笠委員】

皆さん集まってください、意見を言ってくださいと言っても、一番の問題はやはり人を集めることだと思う。

【難波委員】

どのような形がいいのかはわからないが、テーマを決めても問題を提示しないと前に進まないと思う。今お話が2、3あったが、やはり町内の役員が出ないと進まないと思う

し、若い方と言ってもなかなかおられない。例えば消防団の皆さんなどであれば、合同の場でも意見が出るのではないか。

【丸山 進会長】

今、全員の皆さんからそれぞれの意見を出していただき、もっともだと思う。私も感じるが、その地区の町内会長、農家組合長など、役職のある人たちが出席し話し合いをすると、結局、陳情のような偏った内容になってしまう。やむを得ずそれも必要だが、高齢化により若い人たちが全くいない集落も、地域もある。よって、高齢者の皆さんの意見を聴く機会があってもよいのではないか。逆に返せば学校の児童をもっておられる保護者のみを集めて、その皆さんから意見を聞くことも考えられる。清水委員が言われたような内容だが、あるいは消防団的な内容の部分で聞くとか、そのようにやればもっと広い意見が出てくるのではないかと思う。一集落の町内会長、あるいは地域協議会、地区の協議会等に呼び掛けると、一般の人たちはやはり出にくいのかなと思う。若い人たちは我々のような人たちと一緒にものを言ったり喋ったりすることは、まだ不慣れな部分があるので、広く意見を聴くということになれば、全地区で会場を回り話し合うことも必要であるし、あるいは目的をもって今回は若者、今回は70歳以上と対象をしぼり意見を聴くのも一つの方法ではないかと思っている。総合事務所とタイアップをさせていただきながら、問題というよりも何か考えがもう少しよい方向に向けば、再度、目的を持った人たちごとに意見を聴く方法を取っていきたいと思っている。また、その時期になったら皆さんから、どのようなグループ、団体、年代、等々忌憚のないご意見を出していただきながら、牧区全体を対象に、公民館などを借りて話し合う機会を作ってもよいのではないかと思っている。

【渡辺委員】

今、思いついたことだが、地区別は地区別でよいが、例えば中学校・小学校のPTA会議や、保育園の保護者との懇談を持つなどし、世代別の人たちとあるいはもっと若い中学生など、そのようなことまで考えてもよいのではないかと思った。

【丸山 進会長】

本当に広くいろいろな意見が出てくると思う。

【難波委員】

渡辺さんの意見に賛成する。今回牧小学校の新入生は10人とのこと。ある方が小規

模過ぎると不安な気持ちを話された。やはりそのような不安を訴える場所が特にない。これは行政主導の地区懇談会の話だと思うので、行政の立場でやらなくてはいけない部分があると思うので、地域協議会が行政側にお手伝いいただきながら、少し揉んでやることも大事だと思う。

【所長】

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。今ほど難波委員からも話があったように、行政は行政として今年の6月に関しては広く市民の皆さん方にお声がけをし、その反応を見ながら今後どうしていくのか見直しをしていくことにしたいと思っている。今、お話が出た牧区のいろいろな関係団体と意見交換をすることは本当に大事な課題問題の把握の一つの手法だと思っている。是非そのような形で、そのような団体との意見交換をしながら声を拾っていただければ、行政としてもありがたいと感じている。

【丸山 進会長】

皆さんからの意見をできるだけまとめた中で、地域の意見を吸い上げていく方向でもっていきたいと思っているのでよろしく願いしたい。

次の4番その他の報告について、事務局から説明願う。

【所長】

4番その他の(1)平成29年度上越市の予算、牧関連事業について、資料4をご覧ください。まず、この事業を選んだ根拠については、上越市の予算の中から牧区に特化した予算を表記しているという理由でご理解いただきたい。予算の編成上、上越市全体で予算編成している部分と、13区や旧上越市という形でそれぞれ区ごとに積み上げてきている事業もあるが、今回ここにあげさせていただいたものは、区ごとに積み上げてある事業を選んできたということで、ご理解をいただきたい。数字が入っていない部分については、区ごとの予算なしというような表示もしてあるし、分類が2回、議会の委員会資料的な形になっており、4つの常任委員会別に分かれていることをご承知おきいただきたい。

私の方からは前年度との比較の中で主に増加しているものや、ナンバーの横に区分があり、継続や拡充などを書いてあるが、拡充された部分について触れさせていただきたいと思う。

1ページは総務関係や交通安全関係で説明するところはないが、2ページのナンバー

12番に消防設備の整備事業ということで746万7千円、前年度より増加になっている。横に事業概要が書いてあるが、牧区でこのような事業が消防関係で行われるということでご覧いただきたいと思う。

3ページでは厚生常任委員会の部分で、まず1番が拡充ということで、先回の協議会の中でも全体予算の説明の中で説明させていただいた、民生委員・児童委員の活動報奨金の年額が上がることになっている。3番も拡充で、敬老会の単価が1,200円から1,270円に上がっている。牧区の場合は人数が減っているので比較では△になっているが、単価的には1,270円となった。5番も拡充になっており、老人クラブの助成事業も単価の増と、上越市の老人クラブ連合会に入っていないクラブ、未加入のクラブに関しても補助金を交付するということが、29年度新たに拡充になった理由になっている。4ページの一番下にスクールバス等の運行事業がある。ここで218万円増加になっているのは、平成29年度に10人乗りのスクールバスを1台更新する予算が新たに増えた関係で増加になった。5ページナンバー10に小学校大規模改造事業ということで、4,932万4千円が増えている。これは牧小学校のトイレの改修を行うということで、平成28年度の補正予算で予算が付き、繰り越して行うものとなっている。夏休みに集中的に工事を行い秋には完成するというのを聞いている。6ページは中ほどの16番に、中学校の単独事業が198万円増加になっている。事業概要に図書室のエアコンの設置工事と、放送設備の改修工事が増加になっている。7ページ27番に体育施設の管理運営費が233万円増加になっている。これは今までの予算にプラス平成29年度の場合は、牧中学校のナイター施設の撤去工事が691万2千円加わっているという関係上、233万円増加になっている。29番は中山間地域等直接支払交付金が面積の増で471万8千円増加になっている。8ページの一番上に、川上笑学館の管理・運営で317万1千円が増加になっており、施設内の道路舗装工事が272万2千円かけて行われるための増。39番にはこれは樫谷地区のため池の改修と、それから棚広用水の水管橋の整備が補正予算で計上されており、28年から29年に繰り越して実施されるということで増加し、2,434万7千円が予算付けされているところである。9ページ49番に観光施設等管理事業ということで、前年度比較6,131万が増加となっている部分があるが、深山荘の新館側の擁壁工事を行うため、約6千万円が増加になっている。指定管理の委託料に加えてこの工事が平成29年度行われる予定になっている。

その下の道路維持費、それが2,236万円増加になっているので、これにおいて当区の補修などが進むことになればいいなと考えている。2番目の除雪費では5,322万6千円増加になっている。牧区に配置される除雪機が1台、新たに更新される予算が2,073万6千円新年度に付いている。最後10ページについては、5番の砂防関係の災害復旧費ということで、これも平成28年からの繰越事業で、405号線の宮口地内で法面崩落の災害復旧工事を1,200万円かけて、4月早々から工事が行われることになっている。改めて区民の皆様方にはお知らせするが、概ね5月の中旬ごろまで行われ、朝8時半から夕方5時まで片側通行になるが、50日ほどかけて工事に取り組む予算が付いている。

冒頭にも申し上げたとおり、13区が明確にわかっている部分だけの予算ということでご理解いただきたいと思っている。何か不明なことがあればお聞きいただき、わかる範囲でお答えしたいと思っている。

【清水委員】

聞き逃したが、宮口地内の工事はいつから始まるのか。

【事務局】

4月3日からである。ただし、片側交互通行についてはすぐではなく、ある程度進んでからということになるかと思う。道路管理者への片側交互通行の許可は8時から17時までということを出ているが、朝夕の通勤時間帯は両側を通して、日中だけの片側通行というふうに考えている。

【丸山 進会長】

2番目の「29年度牧区の事業スケジュール」について事務局から説明を願う。

【事務局】

資料5「平成29年度の牧区の行事年間計画」については、今日現在、上越市及び牧区において、すでにもう決まっているもの、並びに各団体の皆様からご報告いただいたものを取りまとめたもの。年度の途中で内容に変更があった場合はその都度、適宜、訂正報告等をさせていただく。

【丸山 進会長】

3番目の「平成28年度灯の回廊開催結果」につきまして、事務局から説明を願う。

【事務局】

資料6「平成28年度灯の回廊開催結果」をご覧いただきたい。本年2月25日土曜日に行われた28年度灯の回廊は天候にも恵まれ、全体の入込が約3万230人、昨年度と比較し、4,200人ほど増加となった。安塚区・大島区・浦川原区・牧区及び高土地区の北方、南方中心であるが、5つのエリアで行われた。牧区においては昨年比で580人増加の約4,000近い3,980人のお客様がおいでになったが、いかんせん少雪ということもあり、雪が少ないのも寂しい気がした。

【丸山 進会長】

今までは我々は結果がわからなかったが、今回はこのように資料を出していただいた。

4番目「牧区総合事務所4月1日人事異動」について事務局から説明を願う。

【事務局】

資料ナンバー7をご覧いただきたい。退職と転出者を含めて6名、転入者は宮腰班長を除き6名ということで総合事務所の全体の人数は平成28年度と同様という形になっている。

【丸山 進会長】

5番目「その他の連絡事項」について事務局から説明を願う。

【事務局】

自治地域振興課より上越市地域協議会委員の正副会長との意見交換会記録の提供があった。他の区においての意見等も今後の活動のご参考としていただければと思う。

平成29年度地域活動支援事業に関する資料は、15日の説明会と内容は変更ないが、議会で議決されたので、これが正式に決定した内容となっている。

【丸山 進会長】

地域活動支援事業の配分額が500万円になり、10万円だけ減った。これは人口減により見直しされたものである。

【難波委員】

地域協議会の開催日時はいつも月末だが、やはり月末がよいのか。

【丸山 進会長】

大抵どこも月末だが、何か不都合はあるか。

【事務局】

取り立てて月末がいいとか、上旬がいい、下旬がいいというのは今までの議論の中でもなかったと思う。ただ、開催間隔と言うかスパンの問題で、1回下旬に開催するとそのスパンの中で下旬になるとの流れできているとの理解をしてきている。もし委員の皆様の中でご都合、あるいはご希望があるとすれば、皆様の中で時期を話し合いいただきたいと思う。

【丸山 進会長】

とのことだが、先ほど出席率等々の部分が出たので、できれば一人でも多い皆さんから出席していただき議論を重ねていきたいと思っている。今のやり方がいいのか、月末ではなく、例えば中旬上旬など、いつであれば皆さんの都合がよいのか。

【前山委員】

このように計画書が出ているのだから、ここに協議会の開催日を落とし込んでいくことはできないのか。計画は計画として、変更があれば事前に、一番お願いしたいのは1か月前にいただきたい。2週間前に案内が来ても出られないことが多い。

【丸山 進会長】

ここに落とせば予定が立てられる。何か特別な案件などがあれば変更することとし、それは別に問題はないと思うが、皆さんどうか。大体1年間の動きがわかるので、良い意見だと思う。それではこちらで決めるか。

【前山委員】

逆にもういただいているので、決めていただきたい。

【丸山 進会長】

副会長と私の方で一任させていただき、最後に皆さんへ配布することでよいか。

【前山委員】

配布でも連絡でもよい。

【丸山 進会長】

それではそうさせていただく。難波委員の希望はあるか。

【難波委員】

例えば、諮問の関係は月末でなければならないような理由があるのかと思った。中には毎月25日、25日が休みの場合は前の24、23日というふうに決めている区もあ

る。ある程度日程を決めて、最終的には会長と事務局の都合もあると思うので、変更していただくのもありかと思う。

【丸山 進会長】

了解した。皆さんの意見を参考にさせていただき、私どもの方で事務局と相談しながら、1年間のスケジュールを決めさせていただくので、よろしくお願ひしたい。

他に何かあるか。

【前山委員】

地域協議会とは関係ないのだが所長にお聞きしたい。先ほど小学校の改築の予算に4千万円とあったが、例えば小学校を存続させるという考え方というのは、どんな基準があるのか。学年10人しかいないのに、あのような立派な学校を維持して、5千万円も投資し、新しい設備など本当に必要があるのか。私の持論だが、子どもは5人6人で遊ぶよりも一クラス30人で遊んだほうがいい。その方が中学、高校、大学へ行ったときに、ちゃんとコミュニケーションをとれる人間になる。それがやはり5人だ10人の少人数で6年も9年もいさせることはできる限り避けたいと思っていた。ただそれが今言ったように、この地区のこういうところにはこれを置かなければならないなどと言った、市の基本的な考え方、学校を存続させる基準というのをお聞かせ願ひたい。

例えば牧区であれば交通の手段がきちんとさえすれば、牧区外の大規模校の中にその10人を編入させるというやり方は全く考えていないのか。それとも、将来的には考えることになるのか。

【所長】

明確にはお答えできない部分もあるが、例えば板倉区や三和区など、他の地区でも小学校の統合が検討されている。ただ、やはりその地域自治区の中で1校にするだとか2校にするだとか、3校を1校にするだとかそういうような検討が進められているところで、前山委員が言われるような、例えば牧区と高士地区で1校にするなど、地域自治区を超えて統合するという考えは、まだ説明も受けていないし、そのような方針があるのかどうかも私も承知していないところである。

【前山委員】

これからということでした。

【丸山 進会長】

私の方からお聞きしたい。最近、牧区診療所の休診が多いような気がするが、まさか先生の具合が悪いといったことではないか。研修会などの都合であればよいが、また先生が辞められるような心配はないか。

【事務局】

それはない。前任の先生は健康を害してということがあったが、現在の先生は健康上の問題は全くないとお聞きしている。

【丸山 進会長】

その他に質問、ご意見はないか。

西山副会長は同時刻に会議があり、欠席されたが皆さんによろしくとの言付けがあった。これで平成28年度最後の協議会をそれではこれで閉じさせていただく。次年度もよろしくお願ひしたい。

【前山委員】

平成28年度の地域活動支援事業の実績報告は上がってきているのか。それを閲覧できるのか。というのはずっと議論されたように、継続で申請する団体に進歩が見られないという部分で、ペナルティなどについて協議したと思う。それが実際にやっていることと、今年度出てきたものとの比べ合わせができる。これは時間のタイミングで見せていただけるのか。

【事務局】

順次、上がってきており、今年は地域協議会からお話があったので、今年の審査に間に合うように、コピーして皆さんにお配りしようと思っている。20日の勉強会にお配りできるように準備する。

【丸山 進会長】

その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。